

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 羽場地区 土地利用計画策定 地区懇談会だより ～ 創刊号 ～

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

第1回 地区懇談会が行われました

日時 平成17年7月29日(金) 19:00～21:15

場所 羽場中央公会堂

参加 検討委員18名、コーディネーター他

当日は、飯田の地域づくりにいろいろとかかわっていただいている井上先生(株)井上景観研究所)をコーディネーターに、羽場地区から選出された検討委員が3つのグループに分かれ、羽場地区の現状について議論しました(各グループから出た主な意見は3ページのとおり)。今後も検討委員の皆様によるグループ討論などに取り組みながら、検討を進めていきます。

飯田市の土地利用計画については、次ページをご覧ください。



コーディネーターの説明を聞いています。

皆さんが日頃思っている意見を話し合いました。

「土地利用計画」とは

「将来にわたって住みやすく生き生きとしたまちづくりのために」地域づくりの基盤となる土地利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年 経済成長や車社会・交通網の発達に伴い、郊外への住宅地・商業地の無秩序的な拡大(それに伴う、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大)、昔ながらの景観や自然の喪失、中心部や農山村地域における人口減少・高齢化などにより活力の低下を招くとともに、農地の保全や農業の維持が困難となってきています。

このような状況の中、すばらしい景観や自然を守り、住みやすく生き生きとしたまちを実現し次世代に引継ぐためには、計画的な地域づくりが必要であると考えられます。また、持続可能な地域経営のために従来の土地利用のあり方を見直して、計画的な土地利用を行う必要があると考えられます。

飯田市が行う「土地利用計画」とは

飯田市では、平成18年度にかけて、市や地域の土地利用計画を市民の皆さんと協働して作り上げていくこととなりました。

具体的には、土地利用の全体方針（国土利用計画）を始めとして、目指す都市像（都市計画マスタープラン）、農業施策と農地利用（農業振興地域整備計画）、景観づくりの方針・ルール（景観計画）などを**総合的・体系的に策定**することとし、併せて地域の皆さんの意見や個別の開発計画等を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



今回の土地利用計画の実現は、行政だけでは出来ません。計画づくりやその運用に多様な市民の皆さんの参画を頂きながら行いたいと考えています。今回開催した地区懇談会もその一つです。

「土地利用計画策定 地区懇談会」とは

<役割>

- 飯田市全体に関係する土地利用の課題の共有化、基本的方針（骨格）についての意見の反映
- 羽場地区における土地利用の現状把握、将来の土地利用の方向性の検討とまとめ
- 土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

<検討委員>

地区（連合）自治会等から推薦された、31名で構成されたメンバーです

<今年度の開催予定>

今年度、上半期は各地区で2回開催し現状把握・将来像について話し合い、下半期は3回程度開催し、地区の土地利用方針について話し合う予定です

第1回 羽場地区懇談会で出た主な意見

羽場地区の現状は？

生活、公共福祉サービス

よいところ・宝

- 空気がきれいで住みやすい
- 市民バスが運行されている
- 飯田病院、アップルハイツ、キラヤ、JAがある

課題

- 仲間意識が薄れてきた
- 新住民は自治会に加入しないし、なじまない
- 若い人が地区外に家を持ち、年寄りもやがて出て行ってしまう
- 近所に商店がない
- 子供の遊べる公園がない
- 羽場全体として道路整備ができていない（狭い、歩道がない）
- 白山通り・大通りは、道路が狭く、歩道がない
- 中央道より上では横道がない
- 権現前の道は松川から順次開けていくべきだった
- 区画整理が進んでいない
- 世帯が減り、空家が駐車場になってきた
- 下水道工事などで通行止めになると大型車の迂回路がない
- 工事用車輛の通行が多く通学に危険
- 円悟沢川上流で生活用水及び農薬らしきものが流れてくる

商業・工業

よいところ・宝

- 多摩川精機がある

課題

- 大型店舗に押され、地元商店が閉鎖され不便
- 小さな店は近所の情報交換の場だったが、なくなった
- 工業など働く場所がない

農業

よいところ・宝

- 生産物の種類が豊富
- 農地が広い

課題

- 後継者がいない（特に兼業農家）
- 後継者が少なく、利用されない所が増えている
- 農産物の価格が低い
- 住宅地のそばでは消毒がやりにくい
- 農振地区の解除
- 農新地区に家が次々と建っていく

自然環境・歴史・文化

よいところ・宝

- 猿庫の泉
- 自然が豊か
- 正永寺桜（日本で1種類）、勝負平、日樹上人塚、御用水など歴史が多い

課題

- 蛭やイワナがいなくなった
- 傾斜地が多く平らなところが少ない
- 道路に面した竹林の整備を

拠点・その他

よいところ・宝

- 曙の里（日が昇るのが早い）として昔から開けていた

課題

- たまり場になる場所がない
- この会議の参加者にもっと若者や女性を

将来羽場地区は、こうなってほしい

・こうなってほしくない（次のページへ）



まとめた意見を発表しています



タウンウォッチングの候補地を選んでいきます

こうなってほしい

こうなってほしくない

<生活、公共、福祉サービス>

歩いて3分で行ける小売店が成り立つよう
なまちづくり
年寄りの寄り付きの良い店舗
大型ショッピングセンターがほしい
近くに病院を
上下水道がほしい
公園がほしい
羽場大瀬木線の早期開通
通称白山通りは2倍の拡幅を(歩道付き、
電柱撤去)
白山通り、大通りは車歩道を区別して安
心して歩けるように
中央道上は横道が必要
区画整理して土地を活用できるようにな
ればいい
各種案内板を整備し、景観に配慮してほ
しい
照明が暗く女性の一人歩きが不安

<商業・工業>

区画整理に伴い、商業地域の発展を望む
大きな会社がほしい
雇用場所を増やしてほしい

<農業>

後継者不足の解消を
農業経営者の体験学習など学校への参画
を
農業者の株式化による合理化
農産物の価格が、名古屋・長野市と同等
になってほしい
農地の保全(農工商がバランスよく)

<自然環境・歴史・文化>

急傾斜地を整備して安全な居住環境を
自然を活かした地域開発ができると良い
猿庫の泉、景観を活かした稼げる観光開
発を
御用水の観光資源化
大平街道がゴミ捨て場にならないよう
に

<拠点・その他>

空き店舗を地域の拠り所として活用でき
れば
歩いていける範囲にたまり場がほしい
文化会館を羽場地区へ

<少し広域で羽場を見た場合>

飯田地籍の山麓線の整備

次回、第2回懇談会は次のとおり開催します。

日時 平成17年8月21日(日) 13:00~17:00

場所 羽場中央公会堂

内容 地区内のタウンウォッチングを行い、第1回懇談会で出されたよいところ・課
題・将来等を地図上に整理し、地区の現状・将来について話合います

羽場地区内の方で参加を希望される方は、

下記まで事前にご連絡下さい。

今後、懇談会の様子などを「地区懇談会だより」として、地区の皆様にお届けします。
ご意見、ご感想等がございましたら、下記までご連絡ください。

飯田市役所

〒395-8501

飯田市大久保町2534

22-4511 Fax 23-4414

E-mail: kensetukanri@city.iida.nagano.jp

企画課・管理計画課・農業課・農業委員会事務局・建築課

連絡先

管理計画課 担当：松江 内線 2741

土地利用計画に関することや、地区懇談会だよりは、飯田市ホームページでもご覧になれます
ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」